

経済教育学会第20回全国大会

学ぶ場を自ら築く 学生参画型授業の開発と実践

予習と授業を動的にリンクさせるCWS



2004年12月5日
関西大学商学部
長谷川伸・本城紀子・浦川輝美・武田茶絵子
<http://www.shin.ac/>

本報告の目的: CWSの紹介

- 私たちの授業では、予習として、A4判1頁以内で解説つき資料を提出し、コメントして授業づくりに生かしている。
- この「解説つき資料」をContribution Work (CW) , このCWを中心とする仕組みをCW System (CWS)と呼んでいる。
- CWSのコンセプトと効果を明らかにする。

2004年12月5日 1

学生参画型授業で開発されたCWS

- CWSは2002年秋に開発され、中南米経済論(学生参画型授業)に導入された。
- 2003年度以降も若干の修正を加えながらラテンアメリカ経済論と国際投資論(中南米経済論の後身)で利用している。

2004年12月5日 2

CWSのコンセプトを芝居で説明する

- CWSのコンセプトと仕組みが学生参画型授業を知らなくてもわかるようにする。
- 「ある日の研究室」という設定
 - 関西地方のK大学商学部の教員Hの研究室。
 - 教員HはK大学で国際投資論を担当し、授業は毎回レクチャーが中心。
 - 研究室に国際投資論の学生3名が来て、授業と予習について話し始める。

2004年12月5日 3

解説付き 資料を 毎回提出

ただし、A4判1頁以内

2004年12月5日 4

予習としてのCWに求められる形式

- 予習としてのCWはまず、学生が無理なく毎回提出が可能な形式でなければならなかった。
- そうした形式を追求した結果、A4判1頁以内の解説付き資料にたどり着いた。

2004年12月5日 5

CWはやりがいのある予習を実現

- さんの2004年5月21日提出分CW
- さんの2003年5月22日の感想ラベル

ラテンアメリカ経済論 '03, 5, 22

事前のCWがあって、授業に自然と入り込めることができた。事前準備は大変だと思いが

(出所) 『ラテンアメリカ経済論新聞』第3号, 2003年5月29日, 4頁。

2004年12月5日 6

学生が課題を出して、
学生がコメントして、
学生が授業に生かし、
教員が成績をつける。
授業は参与型から参画型へ

2004年12月5日 7

CWが授業に生かされる仕組み

- CWがどのように授業に生かされるのか。
 - (1)2週間前の授業
 - (2)1週間前の授業
 - (3)当日の授業
 - (4)1週間後の授業

➢ 「2004年度ラテンアメリカ経済論におけるCWS」

2004年12月5日 8

CWは授業の企画・運営に貢献

- 企画者からのCWに対するコメント

「CWって、企画者の力の素ですよ。企画を進めるにあたって、大変大きな助力になるし、すごい完成度の高いCWや、知識モリモリのCWを見ると『よーし！負けるか！』といった気持ちになります。もっと名前を出したりして全面的にCWを活用できたらよかったのに」。

(出所) 『国際投資論新聞』第3号, 2003年11月13日, 6頁。

2004年12月5日 9

CW = 予習が授業をつくる

- 授業企画者にとってのCW: 企画に役立つ。
 - 教材として利用できる。
 - 受講生の状況を把握できる。
- CWが授業企画の材料となるので、提出されたCWの質と量が授業の質を規定する。
- いわば「CWが授業をつくる」。CWは予習の成果であるので「予習が授業をつくる」。

2004年12月5日 10

予習を授業に動的にリンクさせる

CWSは予習を授業に動的にリンクさせることによって、予習をよりやりがいのあるものにするのと、授業をよりよいものにするを同時に実現していると考えられる。

2004年12月5日 11

☑(1)学籍番号 商... ☑(2)氏名... ☑(3)E-mail...

☑(4)作成日付 2004年5月12日(9)☑(5)提出日付 2004年5月14日、2日

☑(6)課題名 ラテンアメリカの西側直観と国民性について

☑引用がされている ☑引用出所の明示がされている ☑コメントがある ←提出前にチェックしてください。

※鉛筆不可。新聞記事などを貼り付けても可。そのままでは用紙に納まりきれない場合、抜き書きや縮小コピーによって用紙1枚に納めること(この用紙の裏を使用しても可)。

ラテンアメリカの国民性(西側直観)としても... (移民の国)

☆ → その国口の人口を占める **白人・黒人・先住民**の割合によって その国民性は変わるのではないか?? (モンゴloid) (人種によってその国民性は変わる)

○ ラテンアメリカにおける人種



白人

(スペイン人)... 1日に5食も食べる! 朝食・中食をとり、仕事へ行くと、1時ほどは働くと、2時間かけて食(昼食)そして4時から仕事再開。仕事帰りに軽食をとって家で9時すぎまで寝る。私かスペイン語の授業で得た知識です。あまり時間には追われていない感じがします。

黒人

黒人は肉体的に頑健であり、厳しい気候や栄養の欠乏下における重労働に耐えられる。アフリカ大陸に奴隷として連れてこられ、過酷な労働に耐えられたのは、身体的に頑健であったからである。チャーバやブラジルの人々が陽気で明るいのはこの黒人のおかげ!!? なのでは。...

先住民

(モンゴloid) 私たちの祖先と同じモンゴloidという事はわかりません。二つに分かれます。

教科書 ③30の図1-24より

ボリビア	先住民	メスティーソ	...
ベネズエラ	先住民	メスティーソ	...
ドミニカ共和国	ムラト
ハイチ	黒人
ブラジル	×	白人	...
アルゼンチン	×	白人	...

先住民の気質が強く影響!?

より、ボリビアの方がその傾向は強いのではないかと。

黒人の気質が強く影響!?

ハイチは黒人とムラトのみ! とても興味深い!

白人の気質が強く影響!?

アルゼンチンは、特にイタリア人・スペイン人が多いから!

授業担当班からのコメント (コメンテーター署名: ...)

階級が違えば人々でもブラジルでは、機会が少なければ話をして仲良くなる。これは、やはりラテン系の文化のためなのかな。日本なら、たぶん話さず。スペイン人は飯を食いませる!! (人種によって国民性が変わるのでは?)

長谷川 使用欄

A

仮説を立てて、それを検証する中で発見されている。

ブラジル人の国民性

ブラジルの生みの親のポルトガル人と言え
ば、大昔は同民族だった隣のスペイン人や、同じラテン系のイタリア人などと比べても、それ程陽気で明るいわけではなく、むしろわりと地味で、堅実な感じのする民族です。ところが16世紀始めに、ポルトガルがブラジルを植民地として以来、そこへ渡ったポルトガル人たちが、本国とは異なるブラジルのごく温暖な気候と、恵まれた大自然環境の中で暮らしていくうちに、彼ら本来の国民性も徐々に変化していったのに加え、やはり植民地時代にブラジルへ連れて行かれ、長い間奴隷として大変虐げられたにもかかわらず、根っからの明るさを決して失わなかったアフリカ黒人の気質の影響も受けて、現在のブラジル人の陽気で明るい国民性が生まれたと言われます。

コメント① 気候やその国の環境が、その国の人の性格(国民性)に与える影響は大きい!!!

ポルトガル人の気質 + 温暖な気候 + アフリカ黒人の気質 → 今のブラジルの国民性 陽気

なブラジル人の中でも最も陽気なのが、実はどちらかと言うと貧しい階層の人々です。また、だからこそいくら貧しくてもへこたれずに暮らしていけるのかもしれませんが。例えば、サッカーの応援やカーニバルなどで一番騒いだり活躍するのはやりどちらかと言うと貧民層です。現に、地上最大のお祭りと言われるリオのカーニルの絢爛豪華なサンバスクール・パレードに参加する人々の大半は貧民街の住民たちです。この点について、いつかある外国人記者が、“リオの貧民街の住人が、シャワーをゆっくり浴びた後念入りにお化粧をし、綺麗な新品の衣服を纏い、体中に香水をふりかけて貧民街の丘を下って街へ繰り出すのは、年間を通じてカーニバルの時だけである”、と若干大げさな風刺記事を書きましたが、全くのウソとは言いきれません。普段の日常生活でもブラジルの貧民層の人々は、大変明るく暮らしています。また、ごく僅かな給料で一生懸命働く人達も、彼らよりもずっと恵まれた階級の人々を目の前にして妬んだり、卑屈になったりする様子はなく、相手がいくら金持ちであろうが、機会さえあればごく自然に仲良く雑談もします。私は、ブラジルにある程度住んでこういった様子を見ているうちに、ブラジルの貧しい庶民はとても偉い面を持っていると感心しました。勿論、特に大都会には地区によって治安が悪いところもありますが、非常に激しい貧富の差がありながら、暴動とか、スーパーマーケットなどへの集団カツパライなどが起きずに社会が何とか収まっているのは、陽気で明るく質素で堅実な庶民のお陰とも言えるのです。

藤村弘男:ブラジル在住・フォルサ・ブラジル代表

フォルサ・ブラジル(ブラジルパワーの意味): <http://www.rakuten.co.jp/brasilpower/>

より。(上も同じ)

<2004.5.(2)>

コメント②

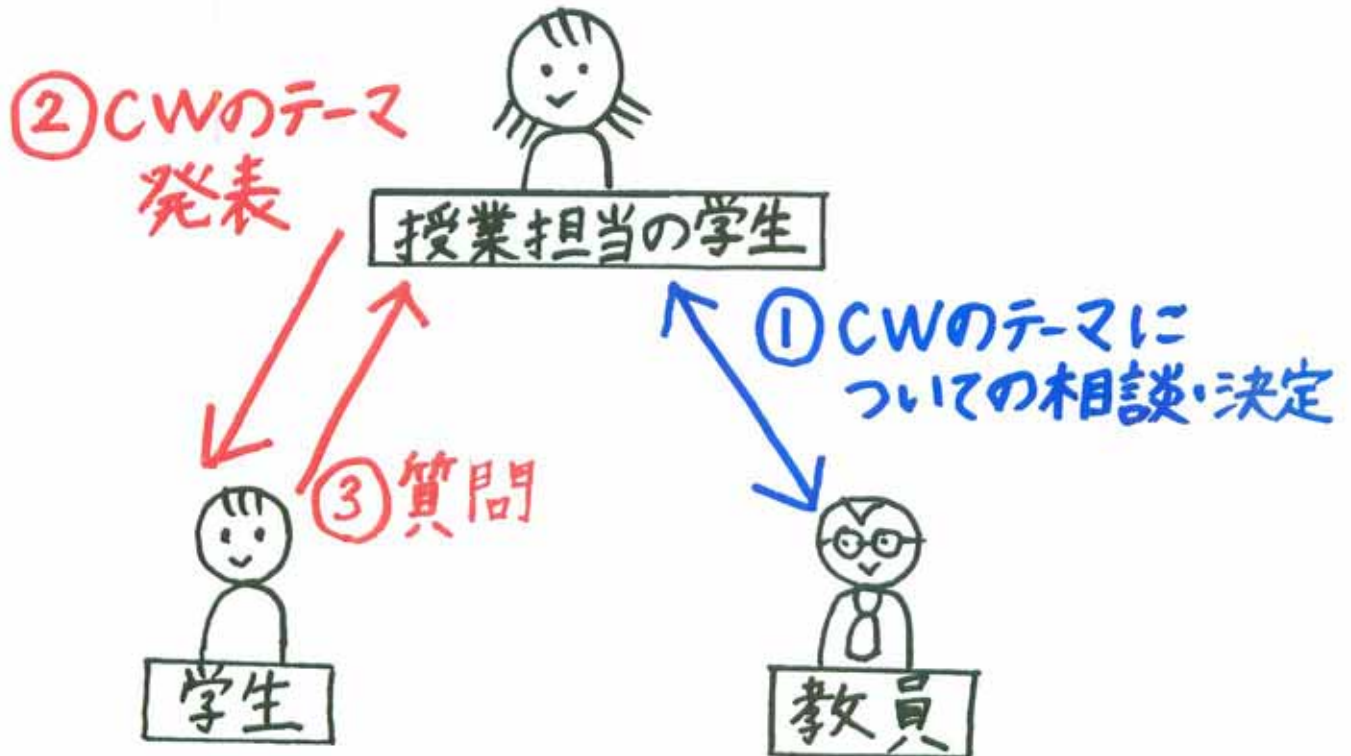
その国に占める人種の割合により国民性は決まると思いたが、その事に加えてその土地の気候というものも影響を与えているんだとわかった。

同じラテンアメリカでも、白人社会のアルゼンチン、先住民の多いボツワナ、黒人社会ハイチでは国民性は大きく異なるんじゃないか???

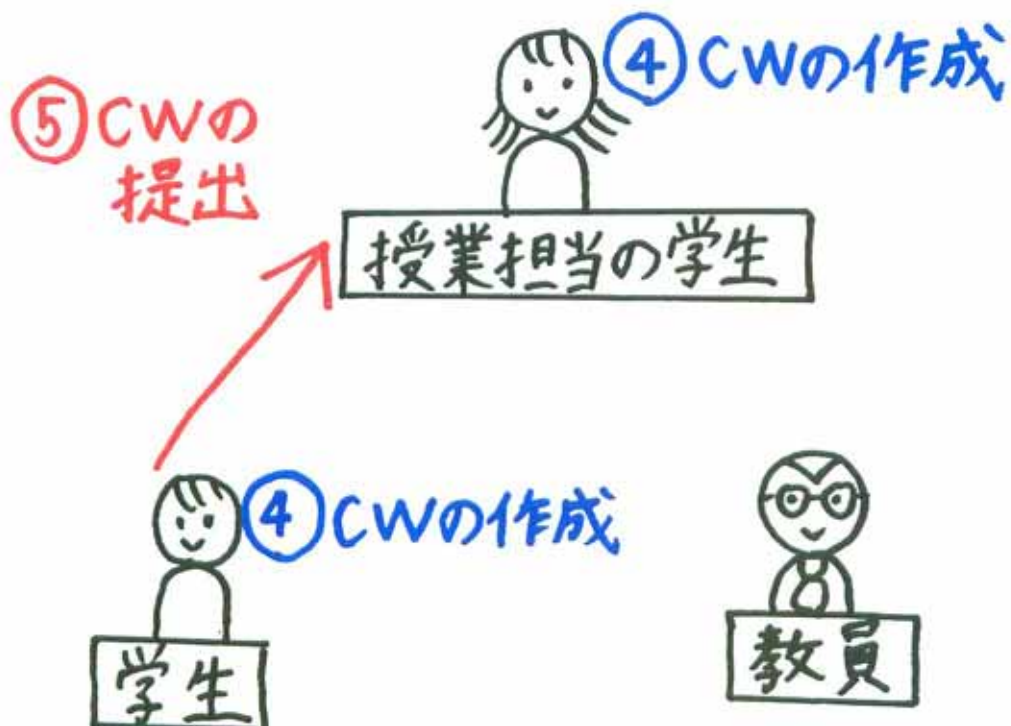
2004 年度ラテンアメリカ経済論における CWS

(1) 2 週間前の授業

——授業までの重カキ
——授業中の重カキ



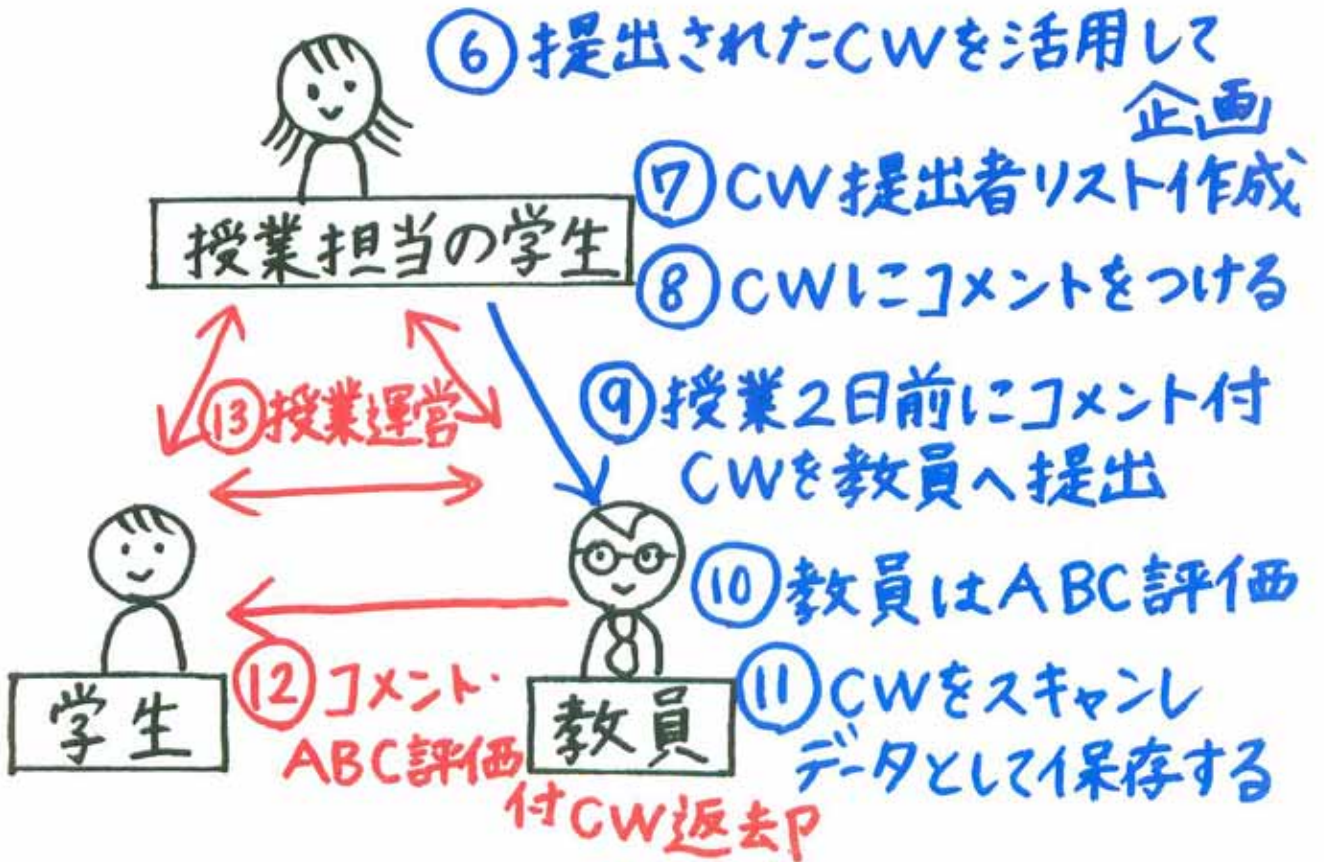
(2) 1 週間前の授業



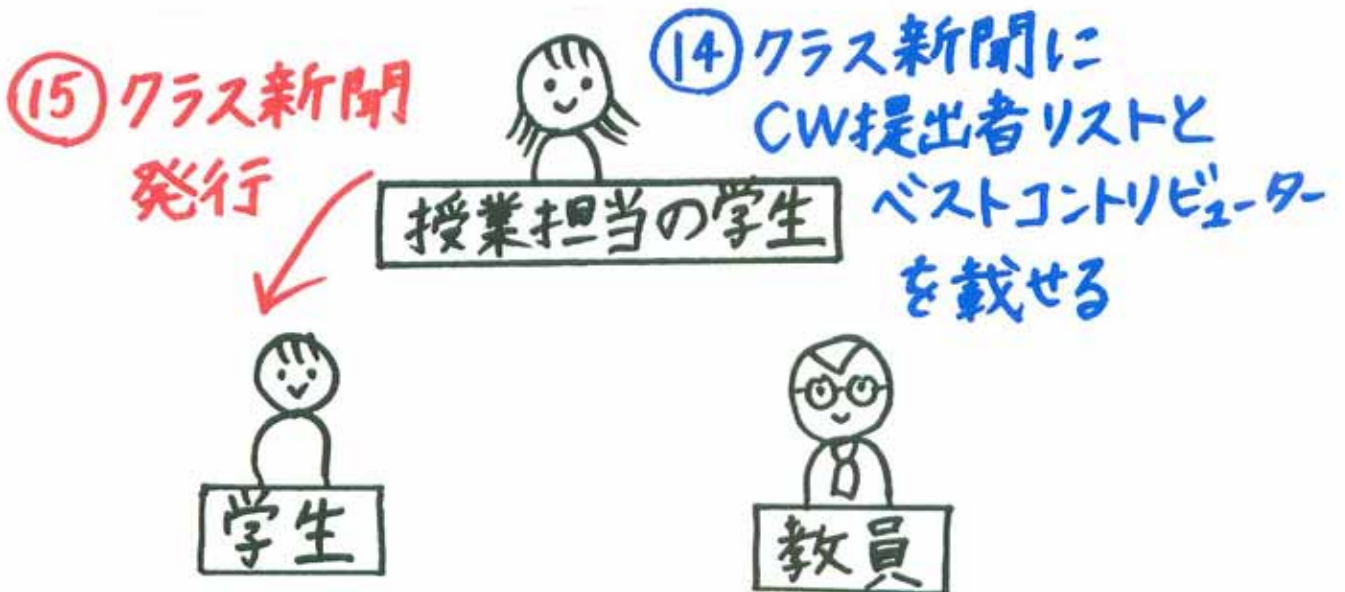
— 授業までの動き

— 授業中の動き

(3) 当日の授業



(4) 1週間後の授業



作成日：2004年12月2日

作成者：本城紀子

学生参画授業とは

【参加の3段階】

段階	コンセプト	キーワード	行動のレベル	参加の局面	理解の程度	参加の姿勢	情報の流れ	知のあり方
第1段階	参集 Attendance	いあわす	個人的	局所状況	断片的	受動的	一方向	知識
第2段階	参与 Collaboration	かかわる	集团的	小状況	部分的	能動的	双方向	認識
第3段階	参画 Commitment	にないあう	組織的	全体状況	包括的	創造的	多方向	意識

(林義樹「参画理論と情報システム」『武蔵大学総合研究所紀要』第6号, 1996年, 62頁)

【参画とは】

参画とは, その場の当事者が関係者と全体像を共有しながら, 意識的・自省的に計画段階から, 実施・評価・伝承段階にいたるまで, 「場づくり」そのものにかかわり, 自らその「部分」を担う開放的・創造的・包括的なかかわり方。

(林義樹「参画理論と情報システム」, 64頁)

【参加の型による教育の3類型】

		参集型教育	参与型教育	参画型教育
学 習 者	役割	視聴者	出演者	設営者
	行動	出席・視聴・記録	発信・交流・生産	企画・実行・伝承
	獲得	知識	認識	意識
先 生	役割	レクチャー	コーディネーター	スーパーバイザー
	行動	教える	調整する	学び合う
	決定	独断	相談	協議

(林義樹「参画理論と情報システム」, 66頁)

【学生参画授業とは】

教師の教育的配慮のもとに, 受講学生が主体的に, 授業の企画・実施・伝承に参画する授業。

(林義樹『学生参画授業論』学文社, 1994年, 10頁)